

水防活動は 恐ろしい水害から 安全な暮らしを守ります。

私たちの住んでいる日本は、雨量が多く、急な傾斜が多い等の条件により、常に洪水が発生しやすい危険性をもっています。各地域では、昔から生命や財産を水害から守るため治水対策が行われていますが、多くの費用と長い期間が必要とされるので、まだまだ水害を根絶するにはいたっておりません。そこで、機敏な対応で水害を未然に防ぎ、また被害を少なくする「水防活動」が自分たちの地域を守るうえで重要な役割を担っているのです。



水防へ

水防

水防って何だろう？

突然洪水などが起きたとき、人命や財産を守るため、その地域に住んでいる人々が様々な技術で被害を最小限に食い止めようと活動することを「水防活動」といいます。水防活動は、みずからの地域をみずからの手で守るという基本的な考え方をもとに昔から実施されています。

洪水から守ろうみんなの地域



水防月間

平成20年5月1日(木)～5月31日(土)
北海道は平成20年6月1日(日)～6月30日(月)

- 主催：国土交通省、内閣府、都道府県、水防管理団体(市町村等)
- 後援：防衛省、警察庁、総務省消防庁、全国知事会、全国市長会、全国町村会、日本放送協会、(社)日本新聞協会、(社)日本民間放送連盟、日本赤十字社
- 協賛：全国水防管理団体連合会、(社)日本河川協会、全国治水期成同盟会連合会、(社)建設広報協議会、(社)全国海岸協会、(社)全国治水砂防協会、(社)全国防災協会、(社)全国土木コンクリートブロック協会、(社)ダム・堰施設技術協会、(社)河川ポンプ施設技術協会、(社)雨水貯留浸透技術協会、(財)河川環境管理財団、(財)河川情報センター、(財)国土技術研究センター、(財)ダム技術センター、(財)ダム水源環境整備センター、(財)リバーフロント整備センター、全国建設弘済協議会

国結

全国各地で
活躍する

水防団の活動実績

平成19年は台風及び梅雨前線の影響による豪雨災害など、全国各地で水害が頻発しました。これらの水害に対し、全国で延べ約15万人（全国総団員数約90万人）の水防（消防）団員が懸命な水防活動を実施し、出水による被害の防止・軽減に努めました。

平成19年（1月～12月）の都道府県別
水防団（消防団）活動人員〔延べ人員数〕

- 10,001人以上
- 5,001～10,000人
- 1,001～5,000人
- 1,000人以下

岩手県

平成19年9月（北上川）
低気圧及び秋雨前線による大雨



徳島県

平成19年7月（那賀川）
台風4号及び梅雨前線による大雨と暴風



東京都

平成19年9月（多摩川）
台風9号による大雨と暴風



静岡県

平成19年7月（天竜川）
台風4号及び梅雨前線による大雨と暴風



こうして守る
みんなの地域

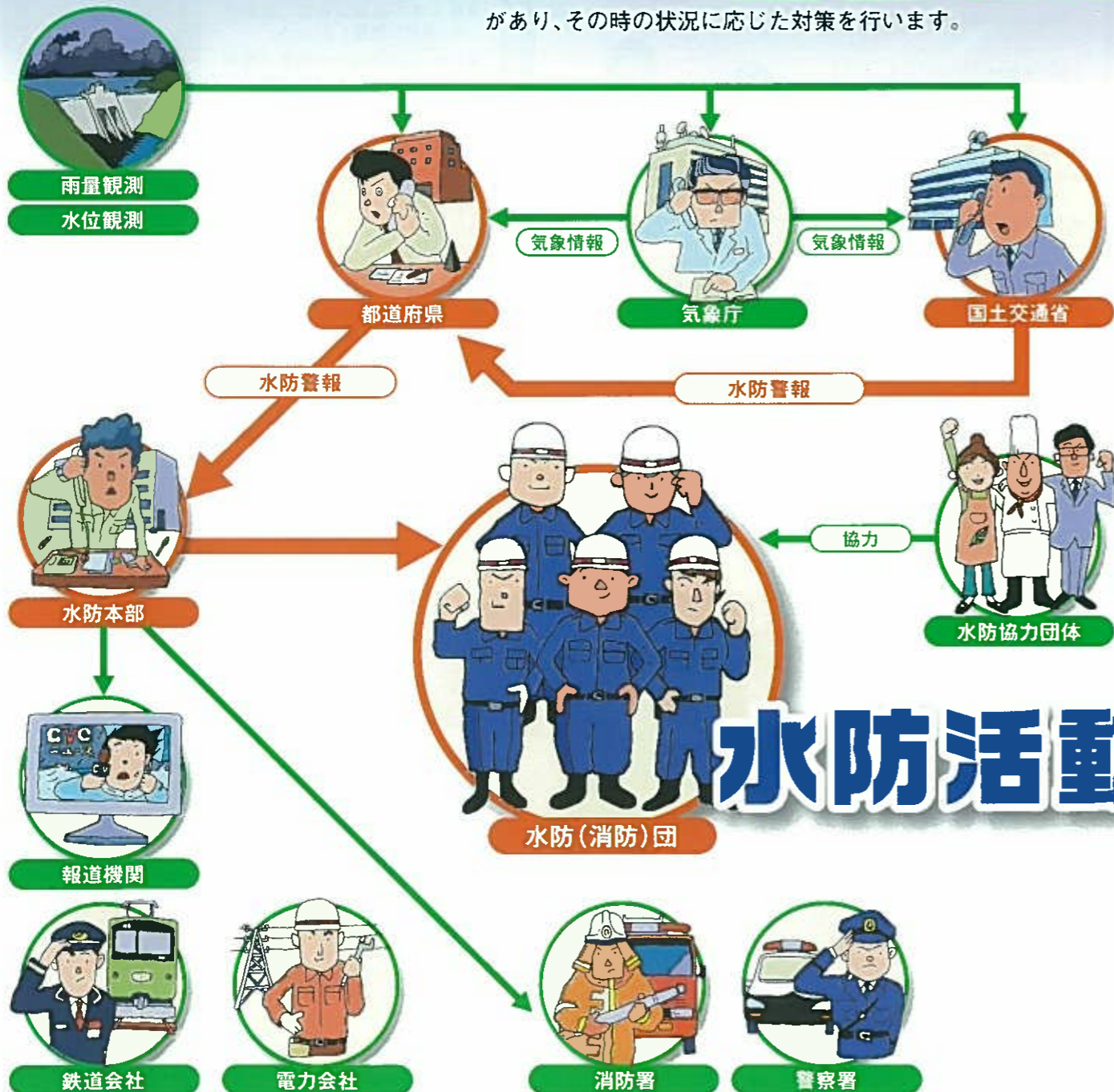
水防活動にご協力 ください!

情報の伝達と把握

水防活動を実施する上での情報システム

国土交通大臣もしくは都道府県知事は、指定された洪水予報河川について気象庁長官と共同して洪水予報を行うと共に、水害の発生が予想された場合、速やかに「水防警報」を発令し、各地の水防本部から水防(消防)団、警察署、消防署、電力会社、鉄道会社、報道機関などの関係機関に連絡されます。

「水防警報」の段階には、①待機 ②準備 ③出動 ④解除があり、その時の状況に応じた対策を行います。



水防警報(準備)発令



■水防倉庫、通信の点検

出動時に備え、水防倉庫内の資器材(土のう、縄、スコップなど)を点検し、連絡体制の確認を行い、水害に備えます。



■堤防巡視

危険個所の早期発見とともに水防本部への現状報告をします。

日頃の訓練



日頃から万一の水害に備え、スムーズに水防活動を行える様に、水防訓練を行っています。また、水防の技術的なリーダーの育成や水防技術の向上、若い世代への伝承のために水防技術講習会が催されています。

出動時

状況に応じて最適な水防工法を実施します。堤防の決壊を未然に防いだり、水害を最小限に食い止めるのが目的です。



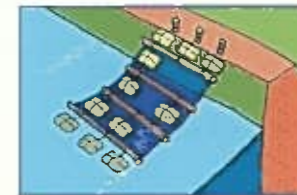
■木流し工法

水の流れが急なとき、枝葉のよく繁った木を川に流し、水の勢いを緩やかにして堤防が削られるのを防ぎます。



■月の輪工法

堤防の裏側に水が漏れたとき、半円形に土のうを積んで、川の水位と漏れた場所との水位差を縮めて圧力を弱め、水漏れが広がるのを防ぎます。



■シート張り工法

水の流れて堤防が削り取られたり、水が漏れたりしないように、防水シート(マット・畳・むしろ等)を張って堤防を守ります。



■積み土のう工法

堤防の上に土のうを積み上げて、水が堤防を越えるのを防ぐ工法です。水防工法の基本ともいえる工法で、ひとつの土のうには、20~30kgの土や砂が詰められ、様々な工法にも使用されています。

非常時・緊急時

水害の危険が予測される非常時には、皆さんに水防活動への協力などをお願いすることがあります。

★水防活動がスムーズに効果的に実施できるように、水防活動へのご理解とご協力をお願いします。



■水防活動への協力要請

住民に対する協力要請があったときは、進んで水防活動に協力しましょう。



■緊急通行

緊急時には道路でなくても通行させていただくことがあります。



■公用収用

水防活動の現場で、一時的な土地の利用や、竹や木を使わせていただく場合があります。



■水防通信

緊急時には、水防関係者に電話などの通信設備を優先的に利用させてください。

■市町村等から避難を呼びかけることもあります。

みんなの地域をみんなで守る!

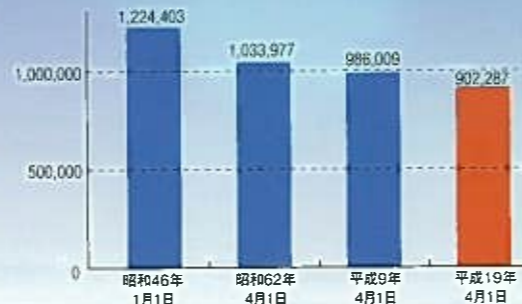
水防団員募集集中!



■水防(消防)団員の推移

H9～H19の10年間では、
約8万人の水防(消防)団員の人員が減少しています。

現在、全国で約90万人の団員が各地の水害で水防活動に従事しています!



水害を未然に防止し、被害を最小限に食い止め、私たちの生命や財産を守るため

貴重な役割を果たすのが水防(消防)団です。

一人ひとりが力を合わせてこそ水防は成り立つのです。

現在、水防(消防)団員は、減少、高齢化が進んでおり、水防活動の充実を図るためにも是非ともあなたの力が必要なのです。

水防(消防)団員は、非常勤の公務員という身分を有しており、市町村等で手当等が支給されます。

詳しく知りたい方は居住する市町村等にお問い合わせください。

水防協力団体になりませんか?

水防協力団体は公益法人・NPO法人からの申請により、市町村などが指定し水防(消防)団が行う水防活動に協力したり、水防に関する情報提供、収集、調査研究及び地域への普及などを行っています。水防協力団体として協力していただける公益法人・NPO法人をお待ちしております。

お問い合わせは地元市町村等までお願いします

水防訓練の支援を行います

水防工法に関する技術指導、水防に関する講習、水防新技術導入に関するアドバイス等を必要とされている団体に水防専門家が出前講座を行います。

●水防専門家とは…

水防工法等について水防団等に対して指導を行っている方(水防団・消防団のOB、国土交通省OB、都道府県OB)で構成されています。

お問い合わせは、(社)全国防災協会までお願いします

水防活動の重要性をみなさんに理解していただくため、水防月間中には、様々な行事を全国各地で開催しています。皆さんの積極的な参加、見学を心よりお待ちしております。

■平成20年度水防演習実施予定

演習名	実施日	実施場所
大和川合同水防演習	5月11日(日)	大和川、富雄川(合流点): 奈良県生駒郡斑鳩町目安地区、北葛城郡河合町穴籠地区
嘉瀬川・六角川・松浦川水防演習 佐賀県総合防災訓練	5月11日(日)	嘉瀬川(左岸): 佐賀県佐賀市嘉瀬町大字萩野地先
利根川水系連合水防演習	5月17日(土)	利根川(右岸): 千葉県印旛郡栄町出津地先
日野川水防演習	5月18日(日)	日野川(右岸): 鳥取県米子市古豊干地先
木曾三川連合水防演習・複合型災害防災実動訓練	5月25日(日)	木曾川(右岸): 三重県桑名市長島町押付地先
吉野川・那賀川合同水防演習	5月25日(日)	吉野川(右岸): 徳島県徳島市住吉四丁目地先
北上川上流水防演習	5月31日(土)	北上川(右岸): 岩手県花巻市里川口地先
手取川・梯川連合水防演習	5月31日(土)	手取川(右岸): 石川県能美郡川北町与九郎島地先
石狩川水防公開演習	6月21日(土)	石狩川、空知川(合流点): 北海道滝川市中島町地先



いざ! という時のために、水害への備えをしましょう。

事前の備え

|避難場所、避難経路は事前に確認

- 安全な避難を行うためには、避難場所、避難経路を事前に確認しておくことが重要です。
- 洪水ハザードマップなどを活用して、どの避難所への道を通って避難するのか確認しておきましょう。
- 家族が離れているときの安全確認の方法を決めておきましょう。
- ハザードマップポータルサイト
<http://www1.gsi.go.jp/geowww/disapotal/index.html>



|非常時の持ち出し品は事前に準備

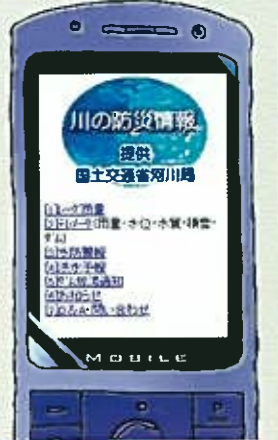
- 貴重品、衣類、非常用食品などを準備しておきましょう。
- 懐中電灯やラジオの準備も大切です。
- 避難時の荷物は必要最低限にしましょう。



台風などが近づいたら

|気象情報や河川情報に注意

- 水害時に避難行動を取るためには、付近を流れる河川の水位の情報や雨量の情報、気象予報、洪水予報を把握することが重要です。
- 河川の水位が避難判断水位に到達することや、はん濫警戒情報の発令が、避難勧告発令の一つの目安であり、避難を判断するタイミングの目安になります。
- 浸水後の避難は非常に危険です。早めに避難しましょう。
- なお、河川の水位や雨量の情報は、テレビ、ラジオ、携帯電話、インターネットなどで入手できます。



国土交通省ではインターネット・iモードでも水害の情報を提供しています

インターネット版 <http://www.river.go.jp/>
iモード版 <http://i.river.go.jp/>

日頃からの備えが、いざというときに必ず役に立ちます。

TOPICS 緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の創設

地震、水害・土砂災害等から国民の生命と財産を守る!!

地方公共団体等への支援体制の充実・強化

国土交通省では、地球温暖化等にもなる、災害リスクの増大に対し危機管理の充実・強化を図るため、平成20年度に緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)を創設し、派遣体制等を整備します。これにより、大規模災害時には、全国的な観点からヒト、モノ、カネ、情報という資源、技術力を瞬時に再配分し、社会基盤施設の早期復旧、二次災害の防止を図ります。

応急対策班

- 堤防決壊部応急仮切
- リモコンバックホウ
- 照明車
- 排水ポンプ車
- ロボQ
- 天然ダムポンプ排水

現地支援班

- 被災状況調査
- 災害対策本部車

先遣班

- 災害対策ヘリ

情報通信班

- 衛星通信車

高度技術指導班

- 法面の挙動を監視し、作業の安全を確保

国土交通省「危機管理全体の総括的指揮」



水防シンボルマークが新しくなりました!

水防月間制定20周年を記念して平成19年度に公募した水防シンボルマークは、1,369点という多数の応募の中から高橋政幸様(北海道)の作品に決定しました。水防月間をはじめ、水防に関する広報活動に幅広く使用していきます。皆様のご愛顧のほどよろしく申し上げます。